

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	総務部総務課長 藤井 徹	電話番号	0852-22-5011
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	私立高等学校等就学支援事業		
目的	(1) 対象	私立高等学校等に在籍する生徒	
	(2) 意図	保護者等の教育費負担を軽減するために、高等学校等就学支援金を交付する。	
事業概要	保護者等の教育費負担を軽減するために、高等学校等就学支援金、高等学校等奨学のための給付金を支給する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 支給対象者に対する交付率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 交付者数/交付することが適当な申請者数	実績値	100.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	716,118	827,173
うち一般財源 (千円)	24,332	66,339

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

制度の対象となっている方に適切に交付できており、目標は達成されている。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

国の就学支援金制度などにより、私立高校生等がいる低所得世帯の教育費負担を軽減できた。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」  
特になし
- ②困っている状況が発生している「原因」  
特になし
- ③原因を解消するための「課題」  
特になし

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

今後とも適切に事務を行う。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)